



子どもと本を結ぶ きっかけにしましょう！

YBC読書感想・体験文募集「本の森たんけん」の特色は、感想文のみならず、読書によって生まれた子どもたちの体験文を募集していることです。

ここに指定した図書は、平成26年に出版された本を中心に多くの中から選びぬいた珠玉の25冊です。絵本、物語、小説、科学、ノンフィクションなど、いろいろな種類の本を集めました。これら25冊から子どもたちが興味に応じて本を選び、感想や体験を書いてくれるようお願いしております。

読書は、著者と子どもが対話し、考える、創造的で能動的な活動です。子どもたちが、本の森のたんけんを始めようとしたとき、「この子」の「今」にぴったりな本を、先生方がご一緒に探し出してくださり、子どもの知性、感性、行動力が伸びるきっかけにしてくださいませよう願っています。

また、「家族の部」では、親と子、おじいさんおばあさんと孫、兄弟など家族で1冊の本をめぐって語り合い、体験したことをまとめてお送りください。

例えば・・・

児童生徒の部

- 主人公の生き方に心が動かされた。
- この本を読んで、初めて知った、驚いた。
- わたしも同じような経験をしたことがある。
- 登場人物と似ているところがある。
- わたしはさっそく調べてみた。
- この言葉・文章が心に残った。

家族の部

- このことについて家族で話してみよう。
- 大人のわたしはこう思ったけれど、あなたは？
- 本を読んでいっしょに調べてみたね。そうしたら？
- わたしが子どものころはね、あなたは？
- あなたが小さいときこんなことが…。わたしは…。
- それはね、大きくなるとわかるよ。私は…。

読書によって生まれた感想や発見、新たな行動、そして、観察記録などもふくめて、どうぞ奮ってご応募ください。

審査員

日本国語教育学会山形県支部理事長
菊地 とく

山形放送(株)専務取締役営業局長
前川 進一

山形教育用品(株)代表取締役会長
海老名 陽一



親子の読書活動を応援します

山形県PTA連合会「親子読書推進委員会」からの提案

親子で読書 深める絆

本を読む子は かならず伸びる

県PTA連合会では、親子読書をとおして生涯学習を進め、親子で学び、親子のコミュニケーションの活性化により、親子の絆が一層深まり、子どもの学力も向上することを願い、この運動を推進します。